



士幌の
志

魅力

～発見・創出・体験・体感

誇り

～好き・尊敬・愛着・自信

未来

～創生・交流・夢・発信

2023
12

作成：士幌町教育委員会

～実践報告第6弾～

士幌町認定こども園「外部人材の活用」

～多くの人の関わりが、幼児の「社会」へのアプローチ～

幼児の成長とは、とりもなおさず一步步「社会性」を身に付けていく営みであるともいえます。そのためには、幼児期にいかに関わりの多い人が子どもたちに関わっていくのが大切になります。コロナ禍もあり外部人材の活用に制限がありましたが、今年は“復活”や“新規”も含めて以下のような取組が行われていますので紹介します。



9月4日に“人形劇団えりっこ”さんが、認定こども園で公演してくれました。久しぶりに2歳以上児と川西、上居辺保育所のみんなが一堂に会して鑑賞することができました。準備から片付けまでを、お二人だけでこなされるのですが、その品質は素晴らしいもので、子どもたちは最初から最後まで引き込まれていました。

10月4日にはクラリネットアンサンブル“アッサンフラージュ”さんが、4年ぶりに来園してくれました。3歳以上児が遊戯室に集まり、はじめての生演奏を堪能しました。すべて子どもたちが知っている曲を披露くださり、子どもたちは歌ったり手拍子したりと音楽の世界に入り込んでいました。あっという間の1時間でした。



川西保育所では、畑に士幌高校のお兄さん、お姉さんが来てくれて一緒に作業をしてくれました。4月に畑おこし、5月に植え、そして8月31日に収穫に来てくれました。園児たちに作業の仕方を優しく教えてくれて、ゴロゴロと大きなおイモが出てくると、園児たちの顔にキラキラとした笑顔が広がりました。そして高校生の顔も、優しく輝いたのでした。

11月28日には、こども園で町教委所属のALTがこども園に来て、年長児と英語あそびを行いました。子どもたちは初めての活動でしたが、ブラッドレイさんと色や形の言い方を習いながら、色探しや体を使った形づくりなど楽しく体験的に学びを展開しました。小学校でもお世話になるALTとの活動は意義あるものとなるでしょう。



小さな世界から一步一步、大きな社会へと歩いていく子どもたち。一人でも多くの大人に“大事にされている”という想いや経験が、彼らの背中を押してくれるのです。まずは家族、そして先生方、さらに地域社会の皆さんの応援が大事になりますね。一層のお力添えを、よろしく願います。

◆こども園では来年度、“抹茶お茶会”の計画を進めています。楽しみです！◆インフルエンザの感染拡大が続いています。「コロナ禍」の一つですね。負けずに強くなっていきましょう！◆先日、そばを打った。妻に「厚切り鯉節」を頼んだら「厚切り煮干し」を買ってきた。う～ん、ちょっと残念でした。◆先日、スケートのW杯帯広大会に競技役員で行っていた。世界と戦う士幌っ子（二人も！）に感動しましたよ！（渋谷）

大人の『本気』が子どもの『志』を育む！